

Contents

- 02 サステナビリティレポート2024について
- 03 編集方針
- 04 ヤクルトの企業概要
- 05 ヤクルトの事業展開
- 06 トップコミットメント
- 08 ヤクルトのはじまり
- 10 ヤクルトのサステナビリティ
- 19 環境活動報告
 - 21 環境マネジメント
 - 27 気候変動
 - 37 プラスチック容器包装
 - 42 水
 - 46 資源循環
 - 47 生物多様性
- 50 社会活動報告
 - 51 イノベーション
 - 57 地域社会との共生
 - 64 サプライチェーンマネジメント
 - 75 人的資本
 - 75 人材マネジメント
 - 78 人材育成
 - 80 健康経営
 - 83 ダイバーシティ&インクルージョン
 - 85 ワークライフバランス
 - 86 労働安全衛生
 - 88 ヤクルトレディに対する取り組み
 - 89 人権
 - 96 製品安全
 - 99 顧客満足
- 104 ガバナンス報告
 - 104 コーポレートガバナンス
 - 111 リスクマネジメント
 - 113 コンプライアンス
 - 116 第三者意見
 - 117 外部からの評価
 - 118 ESGデータ集

生物多様性

事業活動と生物多様性の関係

ヤクルトは、環境基本方針の行動指針において「事業活動の全般において、環境のみならず生物多様性にも配慮した環境負荷の低減化を推進する」ことを明記しています。地球環境や生物多様性に配慮しなければ、企業活動そのものが成り立たず、お客さまの健康に役立つことができません。これまでの研究開発で培ってきた技術等も活用しながら、今後も生物多様性の保全に努めていきます。ヤクルトグループの原料調達から廃棄・リサイクルまでの事業活動の各ステップにおいて、「自然の恩恵にどのように依存しているか」「自然に対してどのような影響を与えているか」を整理し、事業活動と生物多様性の関係を右記の図のように明確化しています。

事業活動と生物多様性の関係マップ

